

はじめに

「公益信託愛・地球博開催地域社会貢献活動基金（愛称「あいちモリコロ基金」。以下、あいちモリコロ基金と呼ぶ）は、「自然の叡智」をテーマとして開催された2005年日本国際博覧会（以下、愛・地球博）の理念を継承発展させるために、愛知県を中心とした開催地域における市民の自発的な社会貢献活動を支援することを目的として、平成19年8月30日に設立されました。

それは、愛・地球博において、国際博覧会史上初の市民参加が実現し、市民が環境問題を始め様々な地球規模の課題に取り組み、相互交流や相互理解を通して持続可能な社会のための自発的な活動を活発に行いましたが、そうした取り組みが高く評価され継続的な支援の必要性が社会的に認められた結果でした。

基金は、収益金の一部約13億円を原資として、愛・地球博を推進した地元4団体（愛知県、名古屋市、名古屋商工会議所、社団法人中部経済連合会）の代表として愛知県が委託者となり、三菱UFJ信託銀行が受託者となって、平成19年から10年間、毎年1億数千万円が助成されますが、既にこれまでに、8回・総額3億9,741万4千円、693件の助成が行われています。

本調査は、助成活動の成果を検証し今後の基金運営及び助成制度の改善に活かし、あいちモリコロ基金設立の趣旨を一層発展させるために、平成21年度までに助成を受けた403団体・431事業を対象として統計調査及びヒアリング調査を行い、助成事業の社会的効果や助成団体の発展・成長への効果等を分析・考察しました。

お忙しい中、本調査にご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げますとともに、調査報告書が皆様のご参考となれば幸いに存じます。

平成23年3月31日

受託者：三菱UFJ信託銀行株式会社

評価事業 調査委託先：日本福祉大学雨森孝悦研究室

特定非営利活動法人ボランティアネイバーズ

目次

はじめに.....	1
目次.....	2
序説.....	5
あいちモリコロ基金の成り立ちと調査事業の経緯.....	5
1. あいちモリコロ基金の成り立ち.....	5
1)2005年日本国際博覧会と基本理念継承発展検討委員会.....	5
2)愛・地球博社会活動等支援基金検討委員会.....	5
3)公益信託 愛・地球博開催地域社会貢献活動基金.....	6
2. 助成事業の実施と調査事業の経緯.....	8
第1部 調査報告.....	9
序章 調査の概要.....	9
1. 調査の目的.....	9
2. 調査体制.....	9
3. 調査の対象(助成事業の概要).....	9
4. 調査方法.....	10
5. 調査スケジュール.....	12
6. 調査結果の要約.....	12
第1章 助成金申請・採択団体のデータ分析.....	17
1. 全体の傾向.....	17
2. 初期活動.....	18
3. 展開期・協働活動.....	19
4. 大規模活動.....	21
5. 採択団体の翌年度以降の申請・採択状況.....	23
第2章 アンケート調査分析.....	25
1. 回収状況.....	25
2. 有給スタッフの人数とその変化.....	25
3. 団体の年間収入.....	27
4. 団体の収入に占める本助成金の割合.....	28
5. あいちモリコロ基金以外からの助成の有無.....	28
6. 助成対象事業の活動内容.....	29
7. 事業の効果.....	29
8. 団体の目指していた効果と実際.....	30
9. 団体に対する助成の効果.....	30
10. 助成期間終了後の事業の状況.....	36

11. 助成金額が適切であったか.....	36
12. あいちモリコロ基金の助成がなかったらどうしたか.....	37
13. 本助成制度は使いやすかったか.....	37
14. 資金以外の支援があれば良いか.....	38
第3章 ヒアリング調査事例	39
1. 平成20年度助成団体.....	39
事例1 特定非営利活動法人 外国人医療センター.....	39
事例2 堀川1000人調査隊2010実行委員会.....	42
事例3 日本ワシタカ研究センター.....	46
事例4 特定非営利活動法人 アジア日本相互交流センター（ICAN）.....	49
事例5 特定非営利活動法人 ポラみみより情報局.....	52
2. 平成21年度助成団体.....	56
事例6 特定非営利活動法人 アレルギー支援ネットワーク.....	56
事例7 特定非営利活動法人 中部リサイクル運動市民の会.....	60
事例8 特定非営利活動法人 レスキューストックヤード.....	64
事例9 特定非営利活動法人 権利擁護支援「ぷらっとほーむ」.....	68
事例10 特定非営利活動法人 愛・地球博ボランティアセンター.....	71
3. 複数年助成団体.....	75
事例11 平成20年度 しみん提案・発生抑制プロジェクトチーム（申請当初：なごや循環型社会・しみん提案会議実行委員会）.....	75
事例12 平成21年度 しみん提案・発生抑制プロジェクトチーム.....	78
事例13 平成20年度 特定非営利活動法人パートナーシップ・サポートセンター.....	80
事例14 平成21年度 特定非営利活動法人パートナーシップ・サポートセンター.....	83
事例15 平成20年度 なごや環境大学.....	87
事例16 平成21年度 なごや環境大学.....	90
第2部 課題整理	92
1. 今回の評価の重点.....	92
2. 成果をどうとらえるか.....	92
3. 事業の発展可能性をどうみるか.....	94
4. 助成事業の成功にかかわる要因.....	95
5. 今後検討すべき課題.....	96
6. この評価調査の限界.....	97
巻末資料	99
1) 応募団体採択団体経年比較.....	a-1
2) 相談コーナー利用状況.....	b-1
3) 助成活動評価調査票.....	c-1
4) アンケート結果.....	d-1

